

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月19日
【四半期会計期間】	第66期第2四半期(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)
【会社名】	株式会社損害保険ジャパン
【英訳名】	Sompo Japan Insurance Inc.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 佐藤正敏
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿一丁目26番1号
【電話番号】	03(3349)3111 (代表)
【事務連絡者氏名】	文書法務部課長 唐木邦光
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿一丁目26番1号
【電話番号】	03(3349)3111 (代表)
【事務連絡者氏名】	文書法務部課長 唐木邦光

【縦覧に供する場所】

当社 横浜支店

(横浜市中区本町2丁目12番地)

当社 千葉支店

(千葉市中央区鶴沢町20番地16号)

当社 埼玉支店

(さいたま市大宮区桜木町4丁目82番地1)

当社 名古屋支店

(名古屋市中区丸の内3丁目22番21号)

当社 北大阪支店

(大阪市中央区瓦町4丁目1番2号)

当社 神戸支店

(神戸市中央区栄町通3丁目3番17号)

株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社大阪証券取引所

(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

株式会社名古屋証券取引所

(名古屋市中区栄3丁目8番20号)

証券会員制法人福岡証券取引所

(福岡市中央区天神2丁目14番2号)

証券会員制法人札幌証券取引所

(札幌市中央区南一条西5丁目14番地の1)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年11月28日に提出いたしました第66期第2四半期(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 保険引受の状況

(参考) 提出会社の状況

ソルベンシー・マージン比率

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 保険引受の状況

(参考) 提出会社の状況

ソルベンシー・マージン比率

(訂正前)

項目		前中間会計期間末 (平成19年9月30日)	当中間会計期間末 (平成20年9月30日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	(百万円)	2,520,425	<u>1,797,126</u>
資本金又は基金等	(百万円)	502,437	501,846
価格変動準備金	(百万円)	33,806	39,206
危険準備金	(百万円)	51	927
異常危険準備金	(百万円)	464,080	462,755
一般貸倒引当金	(百万円)	640	878
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	(百万円)	1,339,824	580,188
土地の含み損益	(百万円)	39,091	63,846
払戻積立金超過額	(百万円)		
負債性資本調達手段等	(百万円)		
控除項目	(百万円)	73,208	<u>70,722</u>
その他	(百万円)	213,700	218,199
(B) リスクの合計額	(百万円)	482,547	<u>444,208</u>
$\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2+R_5+R_6}$			
一般保険リスク(R1)	(百万円)	79,648	79,629
第三分野保険の保険リスク(R2)	(百万円)		
予定利率リスク(R3)	(百万円)	5,920	5,738
資産運用リスク(R4)	(百万円)	270,648	<u>203,894</u>
経営管理リスク(R5)	(百万円)	10,803	<u>9,984</u>
巨大大災害リスク(R6)	(百万円)	183,935	209,975
(C) ソルベンシー・マージン比率	(%)	1,044.6	<u>809.1</u>
$[(A)/\{(B) \times 1/2\}] \times 100$			

(注) 1 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

なお、「資本金又は基金等」は、純資産の部の合計額から社外流出予定額、評価・換算差額等および繰延資産を控除した額であり、前中間会計期間末は「純資産の部合計(社外流出予定額、繰延資産および評価・換算差額等を除く)」と表記していたものであります。

2 前事業年度末から保険業法施行規則等の改正によりソルベンシー・マージン比率の算出方法が変更されております。このため、前中間会計期間末と当中間会計期間末の数値はそれぞれ異なる基準によって算出されております。

(以下略)

(訂正後)

項目		前中間会計期間末 (平成19年9月30日)	当中間会計期間末 (平成20年9月30日)
(A)	ソルベンシー・マージン総額 (百万円)	2,520,425	<u>1,787,126</u>
	資本金又は基金等 (百万円)	502,437	501,846
	価格変動準備金 (百万円)	33,806	39,206
	危険準備金 (百万円)	51	927
	異常危険準備金 (百万円)	464,080	462,755
	一般貸倒引当金 (百万円)	640	878
	その他有価証券の評価差額(税効果控除前) (百万円)	1,339,824	580,188
	土地の含み損益 (百万円)	39,091	63,846
	払戻積立金超過額 (百万円)		
	負債性資本調達手段等 (百万円)		
	控除項目 (百万円)	73,208	<u>80,722</u>
	その他 (百万円)	213,700	218,199
(B)	リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2+R_5+R_6}$ (百万円)	482,547	<u>443,444</u>
	一般保険リスク(R1) (百万円)	79,648	79,629
	第三分野保険の保険リスク(R2) (百万円)		
	予定利率リスク(R3) (百万円)	5,920	5,738
	資産運用リスク(R4) (百万円)	270,648	<u>203,094</u>
	経営管理リスク(R5) (百万円)	10,803	<u>9,968</u>
	巨大災害リスク(R6) (百万円)	183,935	209,975
(C)	ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100 (%)	1,044.6	<u>806.0</u>

(注) 1 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

なお、「資本金又は基金等」は、純資産の部の合計額から社外流出予定額、評価・換算差額等および繰延資産を控除した額であり、前中間会計期間末は「純資産の部合計(社外流出予定額、繰延資産および評価・換算差額等を除く)」と表記していたものであります。

2 前事業年度末から保険業法施行規則等の改正によりソルベンシー・マージン比率の算出方法が変更されております。このため、前中間会計期間末と当中間会計期間末の数値はそれぞれ異なる基準によって算出されております。

(以下略)